

市会議案第 28 号

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成 28 年 12 月 15 日提出

吹田市議会議員 野田 泰弘

同 澤田 直己

同 川本 均

同 藤木 栄亮

同 斎藤 晃

同 吉瀬 武司

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書（案）

近年、東日本大震災などの震災を始め、土砂災害、大水害等、各地で想定を超える大規模な自然災害が発生し、甚大な被害が相次いでいる。本年も、4月に発生した熊本地震のみならず、8月以降には複数の台風により、特に北海道や東北地方を中心に多くの人命が失われ、甚大な被害に見舞われた。さらに10月には、鳥取県でも震度6弱の地震が発生している。

災害からの迅速な復旧、復興とともに、安心、安全な国づくりに資する防災・減災対策は喫緊の課題である。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を図るため、下記の事項に取り組むよう強く求める。

記

- 1 全ての地方公共団体への被災者支援システムの完備・普及、学区単位での自主防災コミュニティの組織化や訓練の実施等、地域防災力の向上を図ること。
- 2 大規模水害から住民の命と暮らしを守るため、地方公共団体の枠を超えた流域ごとのタイムライン及び、避難行動に直結するハザードマップを作成するとともに、適切な避難勧告・指示発令のための体制を構築すること。
- 3 災害に強い防災拠点の整備として、スマートフォン等で家族の安否確認や緊急連絡ができるようにするための公衆無線LANの設置や、災害時においてトイレ機能を確保するためのマンホールトイレの整備を促進すること。
- 4 子供や女性、高齢者や障がい者が避難所生活でつらい思いをすることがないように、避難所の環境整備や防犯体制を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月 日

吹 田 市 議 会